

九月廿七日 晴

朝国司侍介来

午後交平土屋や佐助ノ輝至

南州の月

と云ふ本日十六夜、因みに

二ツツノ節送ス



何れに平かな、悉く下
月代、甘やかす、お田文、馬代
おなと合す

九月十八日 月 辛巳

[illegible]

世所校爲十代子ヲ送テ入ス

子年三
長河、
五ノ
メロニ
キハ

六十五
歸宅今夜十時

考中 釋元 音島 弘明

日
我
國
好
人
臨
山
下
一

三人昭敷會ヲ考シテ何帰隊

九月廿九日 火 雨

夜來夢外云一便三ノ

未ダアリ

午後十時五十分迄半ノ

五下、本腹ノ代々、五双未カ

送ル

九月廿日 水 羊曇

朝八時三十分下、雨着任

増田小村、上岡島村ナリ

ヨリ、午後四時、後リ、電車ノ

和、赴リヤ人、一、港介氏、

集八

十時、某、所、入リ、十時、某、港

会社、主、役、令、臨、一、紅、帶、麻、生、

大、倉、青、田、諸、氏、本、日、ハ、各、理、会、

ヨリ、諸、知、入、港、銭、引、下、ノ、其、策、

ヲ、諸、知、一、諸、氏、等、外、ハ、ナ、リ、三、

内、一、及、ヒ、タ、リ、

某、知、多、所、カ、ヘリ、今、如、キ、井、上、

諸、氏、等、成、一、所、而、決、テ、ヤ、村、ヨ、リ、

其四漁業令及三
 研究如ノ係本ヲ能
 正及ノ漁場ノ模
 計今及ノ立千國司
 出ノ来ル

其四漁業令及三
 研究如ノ係本ヲ能
 正及ノ漁場ノ模
 計今及ノ立千國司
 出ノ来ル

十月一日木

朝方介氏より来り漁場は
二朝方より千石居り其ノ正
方ハ今氏より右利ヲ獲ヘテ
若石其月後其を以テ送リ

伊東ハ朝方南々来リ千石居
改テ来リ訪テ今其ノ正
方ハ備由巡視歸リテ其
所より母ヲ首ニ其ノ掃取
増田由來下以送テ其ノ正

三十五分^{馬車}汽車 東上止

若松より降りて今車ス

十月二日 金 羊土雲

朝六分三十分 往入 市

東、原、雨、十、分、車、り、本、坂

子来り四つ五分ハ車、送、り、父

赴、キ、タリ、余ハ、雨、所、入

右一軒ニ合、ミ、片、赴、キ、銀、行、ミ、ル

長、葉、田、ミ、桑、田、ミ、人、信、茂、雨、所

か、雨、ミ、而、合、ミ、十、分、候、り、雨、キ

三時甚早、赴キ明日迄庄
指圖、丁酉典文所石垣、
樓より文
上青、石垣、梯、石、昨日
下、廊、リ、ト、子、家、先、清、は、樓

樓より、石垣、梯、石、昨日

廿月三日、事、而

赤、雄、氏、汗、待、久、等、り、吹
奏、ら、其、し、い、午、汗、し、信、成、可
す、れ、ス

金計三十八百円

内事牛田不交際ノ命ニ長

ちり考と應じ述ハスツトシケル

俗料ノ家計費ヲメ垢ニ付

ルヤウ仏シタリ 其安ヤチバ

高知市立自由民権記念館

十月三日 土曜

午前一時より四時と違わぬ

夫より先向ニ三時迄あり而

日本国並に静ニあヌ止たハ

今朝より川新リトリ

いふまに七海より来る千両三
百兩の外、萬壽殿にて十兩
余、因り偶然、人より手紙を
かり
おたふかし、翌日、此の
ハ、廿二日、市中にて、

上

一

